



自動認識総合展名古屋を開催

2025年2月18日から2日間、名古屋市中小企業振興会館で「自動認識総合展名古屋」が開催され、1,772名にご来場いただきました。



会報JAIISA春号 CONTENTS

特集 自動認識総合展名古屋 P1

特集 自動認識セミナー名古屋 P2

特集 自動認識総合展名古屋 基調講演 P3~4

AUTO-IDトップランナーに聞く P5~6

座談会 自動認識業界の若手 自動認識技術者たち P7~11

デジタル倫理ワークショップ バイオメトリクス部会 P12



自動認識セミナー名古屋



座談会に参加した自動認識基本技術者、RFID専門技術者のみなさん

AUTO-ID & COMMUNICATION EXPO 自動認識総合展 名古屋

冬の自動認識総合展が、ものづくりの街名古屋で開催

2025年2月18日(火)、19日(水)に名古屋市中心小企業振興会館(吹上ホール)で自動認識総合展名古屋が開催されました。出展社数は42社/60小間で、前回の大阪展(36社/48小間)を上回る規模で開催、2日間の来場者は1,772名となりました。

会場にはユニフォーム姿の地元来場者も散見され、ものづくりの街らしいアットホームな雰囲気、各ブースでは活発な商談が行われました。



経済産業省 中部経済産業局 産業部 製造産業課 課長
宮本 哲哉 様



(一社)日本自動認識システム協会 代表理事会長
相良 隆義 様

自動認識の先進技術とソリューションを披露

初日の会場前には、多くの来賓にご参列いただき開会式が行われました。来賓を代表して、経済産業省中部経済産業局の宮本哲哉様から国内経済では成長と分配の好循環が動き始める一方、労働人口減少に伴う人手不足などの課題解決に向け、省人化・省力化による業務効率や生産性向上、イノベーションによる新事業創出に向けた取り組みが重要であり、設備投資やDXへの対応が不可欠>として、<本展示会を新たなビジネスチャンス創出の有効な機会となることを期待する>と祝辞をいただきました。

また、JAISA代表理事会長相良隆義は<本展示会のテーマはAUTO-ID for DX- 製造、物流を支える自動化ソリューションであり、働き方改革に求められる効率化・省人化を実現する自動認識がお客様の課題解決に繋がり、中京圏の経済発展のお役に立つことができれば幸いです>と述べました。

併設するセミナーは中部経済産業局様の基調講演はじめ、中京圏の企業様による自動認識技術の活用やAIやIoTの取り組み、最新の導入事例など、8セッション/16コンテンツで構成され、437名が聴講しました。

| | |
|---|--|
| 〈出展社一覧〉 | |
| (株) RFIDアライアンス/エイリアンテクノロジー/データマース/RFcamp UHF帯RFIDラベル、下げ札、金属タグ、カード、ランドリータグ実演 | |
| アイニックス (株) 電子棚札・電子ラベル・音声&LEDピッキング・RFIDシステム | |
| アイメックス (株) / (株) フェニックス 物流2024年問題 改善のご提案 NFC対応物品管理システムのご提案 | |
| 伊藤忠メタルズ (株) / 4E Antenna AB / Integritag (All4Labels Group) RFID製品「脱プラ対応：紙基材アンテナ「eRFID」」の展示・紹介 | |
| NECプラットフォームズ (株) 「サステナブルな技術で未来を築く新たなDX推進」をテーマにご紹介 | |
| (株) オープンストリーム 業務システム向け クライアントアプリ開発・実行環境 | |
| オカベマーケティングシステム (株) ゼブラ社製最新機種やAI-OCR等のDXソリューションをご提案 | |
| コードコンシェル (株) RFIDクラウド在庫管理システム/Bluetooth スキャナ | |
| 小林クリエイト (株) 主に製造・流通向けのRFIDを活用した各種ソリューションを展示 | |
| (株) サイレンスネット UHF帯RFID金属対応・耐熱・耐溶剤タグを中心に関連製品を展示 | |
| (株) サトー RFID/位置測位/自動化/AI+画像認識ソリューションを展示予定 | |
| 山京インテック (株) / (株) 光アルファクス 新開発金属対応RFIDタグ! 及び、簡単搬送ロボットと管理システム | |
| セーレン (株) RFID 誤読対策 電磁波シールドファブリック「PLAT® (プラット)」 | |
| 積水樹脂 (株) 透明電波吸収遮蔽ウォークスルーゲートのご提案 | |
| ゼネラル (株) UHF帯ネジ型RFタグ・カスタムRFタグ、RFID簡易デモ | |
| (株) デンソーウェーブ RFID・IoTほか、製造・物流現場向けソリューションをご紹介 | |
| TOPPAN (株) / TOPPAN デジタル (株) TOPPANグループが有する多彩な自動認識ソリューションをご紹介 | |
| 日精 (株) 様々な自動認識サービスを展開。RFID選定、実験、デモをワンストップで | |
| (株) ハヤト・インフォメーション/ HASTEM (株) BLE鳴動型タグBT11、耐タンパー UHF帯ケーブルタグ、PLOC0 | |
| (株) ビジコム 物流・製造・小売業界の入力のDXを極める業務用デバイス・モバイル端末 | |
| フェニックス電子 (株) バーコードプリンター/スキャナ、RFID機器、サプライのご提案 | |
| (株) マーストーケンソリューション 手軽に導入できるAI外観検査、製造/物流DXを実現するRFIDシステム | |
| (株) リコー パッケージへ直接可変情報印字できる「ラベルレスサーマル」のご紹介 | |
| RICHRFID Japan (株) RFID(RAIN&NFC)各種タグやラベルの設計・製造が専門 | |
| (株) リベンリ ユーザーの操作を見て最適な操作方法をアドバイスする業務効率化ソフトウェア | |

| | |
|--|--|
| 〈ポスター・カタログ展示〉 | 〈出版・関連団体〉 |
| エム・アールエフ (株) (株) サトー (株) テララコード研究所 日本ミクロン (株) 緑屋情報システム (株) | GS1 Japan ((一財) 流通システム開発センター) 日本工業出版 (株) (一社) 日本自動認識システム協会 (公社) 日本ロジスティクスシステム協会 (有) 流通情報ラベル社 |

特集 自動認識セミナー名古屋

BTSpice 自動認識セミナー 名古屋

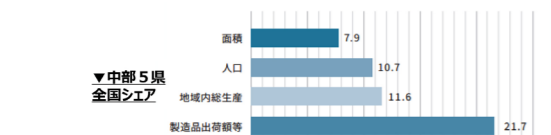
| | | | |
|----------------------------|--|---|--|
| 2月18日(火) | S1 基調講演 | | |
| | 10:30 11:10 | 中部地域の製造業を取り巻く状況と経済産業施策について 中部地域のDX、自動車産業、半導体産業をはじめとした産業全体の動向や今後の見通し・課題等について。また、それらを踏まえた中部経済産業局の取り組みや各種支援政策などについて講演。 | 経済産業省 中部経済産業局 産業部 製造産業課長 宮本 哲哉 氏 |
| | S2 自動認識規格セミナー | | |
| | 11:30 12:10 | 省人化・トレサ・情報提供 ビジネスニーズのためのグローバル標準「GS1」 近年、省人化や自動化など、自動認識技術の活用は様々な業界で盛んに話題に上ります。一方、各所でシームレスに活用するには、独自のシステムやコードでは対応できないといった問題もあります。本講演ではグローバル標準「GS1」のメリットと実際の活用事例を具体的に紹介します。 | GS1 Japan ソリューション第1部 グロサリー業界グループ 上席 分部 佳奈 氏 |
| | S3 実践! 最新事例に学ぶ自動認識システム | | |
| | 13:00 13:30 | RFIDの可能性を広げる金属対応タグ ~最新の導入事例を中心に~ 従来より、「RFIDの弱点は金属」と言われておりますが、弊社の金属対応タグ「PMTシリーズ」は、これを払拭する画期的ソリューションです。金属の裏面・積層状態でも高い読取精度を誇る、その独自構造や、最新の導入事例、開発品等についてご紹介いたします。 | (株) フェニックスソリューション 取締役 営業部長 山本 佑樹 氏 |
| | 13:35 14:05 | 現場で活かす! ハンディターミナル& AI-OCR活用事例ご紹介 AIにより高性能になった文字認識技術を活用し、ヒトが行っていた入力やチェックの自動化・システム化に成功した事例を紹介。開発に至る経緯や立ちちはだかる問題に、いかに対応し前に進めることが出来たか?DXを検討している方へ参考になる事例を紹介します。 | 奏風システムズ (株) 代表取締役 赤塚 剛 氏 |
| | 14:10 14:40 | QRコード まだまだ広がる可能性~最新活用事例を通して~ 1994年に製造業における生産の効率化、正確化の為に愛知県で生まれたQRコード。30年の歴史の中で、業務効率化に留まらず、安全安心な暮らし、便利な暮らしを支えるインフラとしてグローバルに飛躍的に拡大してまいりました。本セミナーでは更に広がる可能性について活用事例を中心にご紹介いたします。 | (株) デンソーウェーブ マーケティング部 プロジェクト推進室 課長 谷藤 由利 氏 |
| | S4 【出展社プレゼン】製造DX | | |
| | 15:00 15:15 | 新開発! プリンタブル金属対応RFIDタグ (株) 光アルファクス、山京インテック (株) 新開発の金属対応RFIDタグは、ラベルプリンタで印字可能! 開発背景や利便性、幅広い応用の可能性についてお伝えします。 | 15:45 16:00 |
| 15:15 15:30 | Biz/Browserが現場業務の最適化を実現 (株) オープンストリーム デジタル化が進む今、ハンディターミナルやスマートデバイスの普及が業務の形を変えています。Biz/Browserが現場の最適化にどのように貢献するのか、事例をもってご紹介します。 | 16:00 16:15 | 各種先進的なRFIDプロダクトのご紹介 (株) ハヤト・インフォメーション BLE鳴動型タグBT11や耐タンパーUHF帯ケーブルタグ、家庭用のRFID知育玩具など、国内外で多くの採用実績を持つ先進的なRFIDプロダクトをご紹介します。 |
| 15:30 15:45 | AIを活用した文字認識「AI-OCR」の実力をご紹介 オカベマーケティングシステム (株) 高認識精度AI-OCR+ローコード開発ツールMagic xpaを組み合わせた「MOJIRU」は、スキャンされた書類から文字を自動的に認識してデジタルデータに変換する事で業務効率を劇的に改善します。 | | |
| 2月19日(水) | S5 特別講演1 | | |
| | 10:10 11:00 | 生産システムにおける自動認識技術の活用 デンソーのものづくりにおいて、自動認識技術をどのように活用して生産システムを進化させてきたかを振り返るとともに、次世代ものづくりの課題解決への自動認識技術の期待を述べます。 | (株) デンソー 生産革新センター 生産技術部 担当部長 技師 河野 恵介 氏 |
| | S6 特別講演2 | | |
| | 11:20 12:10 | コンビニにおけるIoTとAIの最新の取り組みと未来 年間162億人が買い物するコンビニは、日本の個人消費や労働環境の写し鏡となります。今後日本国内の人口減による経済停滞や人手不足に対してのコンビニの対応を学ぶ事により、日本の未来を考えるキッカケとします。 | (株) やらまいかマーケティング 代表取締役社長 渡辺 広明 氏 |
| S7 2024年度システム大賞セミナー | | | |
| 13:00 13:30 | 大賞 棚定点観測サービス (小売店舗での業務効率化) 日本電気 (株) ビジュアルインテリジェンス研究所 主任研究員 白石 壮馬 氏 スマートリテール統括部 ディレクター 田原 裕司 氏 定点カメラ映像から商品棚の陳列状況を画像認識により可視化し、商品の補充が必要なタイミングを従業員に通知することで品出し作業効率化を実現する「棚定点観測サービス」についてご紹介します。開発の背景、システムの特徴、導入の効果などをお伝えします。 | | |
| 13:35 14:05 | 優秀賞 画像診断AIを活用した内視鏡資産管理におけるDX 富士フィルムメディカル (株) 内視鏡リペア&イノベーションセンター センター長 外山 和成 氏 内視鏡リペア&イノベーションセンターでは内視鏡貸出機を集中管理しており、顧客の要求に対する貸出し機材の引当や出荷、返却受入後の点検から修理、保管まで多様な業務を行っています。本講演では、画像診断AIやRFIDなどを活用した、顧客の業務を止めない仕組みをご紹介します。 | | |
| 14:10 14:40 | 優秀賞 古文書解読サービス「ふみのは®」 TOPPANデジタル (株) 技術戦略センター 情報技術研究室 河津 光晟 氏 国内に数十億点残存すると言われる古文書は、われわれに数百年前の社会や文化、災害などについて貴重な情報を与えてくれますが、現代では古文書を解読できる人は0.1%もいません。そんな古文書を文字認識し、翻刻を支援する古文書認識サービス「ふみのは®」をご紹介します。 | | |
| S8 自動認識市場統計報告 | | | |
| 15:00 16:10 | 「自動認識市場調査報告と最新動向」 (一社) 日本自動認識システム協会 市場統計委員長 佐藤 誠 氏 アイニックス (株) 代表取締役 平本 純也 氏 | | |

自動認識総合展名古屋展では多くのセミナーが実施されました。本誌では、基調講演「中部地域の製造業を取り巻く状況と経済産業施策について」中部経済産業局 製造産業課 課長 宮本哲哉様の講演資料の一部を掲載いたします。宮本様は講演で「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」と「経済産業施策について（中堅・中小企業向けの主な補助金）」などをご紹介いただきました。

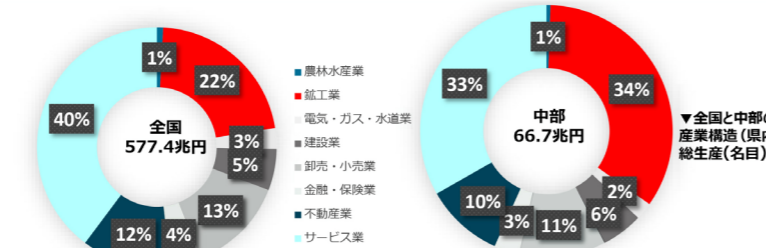


中部地域のすがた（産業構造）

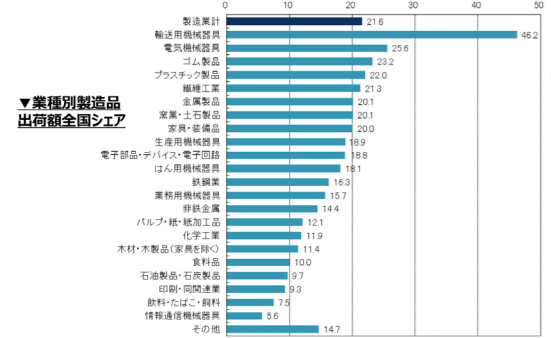
- 中部地域（愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県）は、面積、人口、地域内総生産では全国の1割程度。全国に比べサービス業の割合が低く、鉱工業に依存。
- 製造品出荷額では全国の2割を占め、我が国随一の「ものづくり圏」。中部地域の製造品出荷額等の業種別構成比では約4割が輸送用機械。輸送用機械の全国シェアは4割以上を占めている。



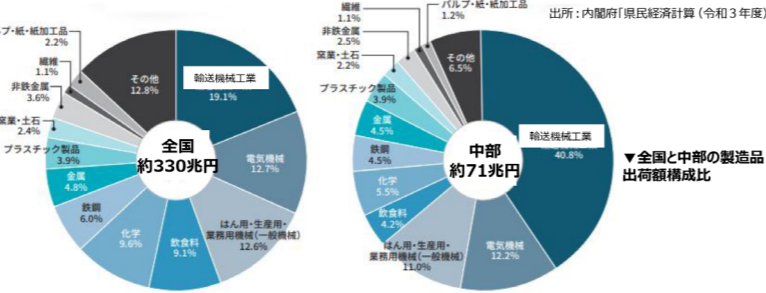
出所：国土地理院「全国都道府県市区町村別面積統計（令和6年1月1日時点）」、総務省「人口推計（2023年10月1日現在、内閣府「令和2年度国民経済計算」、経済産業省「2022年経済構造実態調査 製造事業所調査（地域別統計表データ）」）



出所：内閣府「国民経済計算（令和3年度）」



出所：総務省「経済産業省「2022年経済構造実態調査（製造事業所調査）」注：「F06他」は、「F06A」等・同製品・F06の他の製造業J06合計

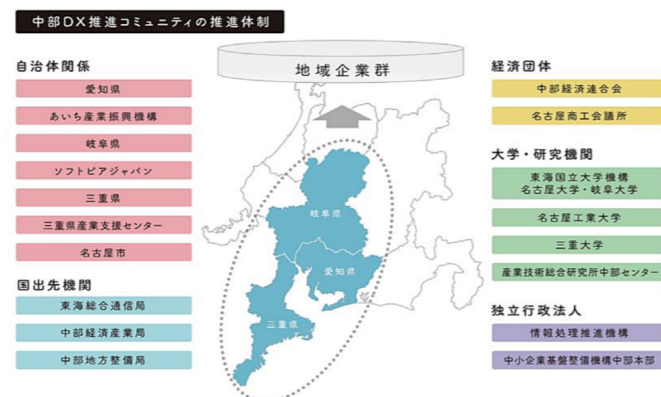


出所：2022年経済構造実態調査 製造事業所調査（地域別統計表データ）を元に中部経済産業局で作成

中部DX推進コミュニティの概要

コミュニティの推進体制

- 中部経済産業局では、地域の関係機関と協働し、地域企業のデジタル化・DX（デジタルトランスフォーメーション）をさらに推進するため、中部地域の産学官が協働する「中部DX推進コミュニティ」を2022年3月8日に発足。2024年3月15日に3つの重点事項を定めて活動を発展させていくことを宣言。
- 現在、地域の支援機関を中心とした19機関で構成。



3つの重点事項

重点1 データ活用

- 環境変化に強い経営を目指すためには、カンや経験値に頼った判断から、データを背景にした経営意思決定が重要
- 中長期的な取組として、データに基づく経営の推進

重点2 DX推進人材

- 経営ビジョンとDX戦略策定によるプロセス管理
- 戦略を実行するDX推進人材育成の継続
- データ活用に必要なスキルの検討

重点3 サイバーセキュリティ

- 攻めのDXと守りのサイバーセキュリティは両輪
- データを守る、事業継続の観点からのインシデント対応

中堅・中小企業向けの主な補助金の位置付け（1/2）

| | 100万円 | 500万円 | 1,000万円 | 5,000万円 | 1億円 | 5億円 | 50億円 | 補助金額 |
|-------|--|-------|---------|---------|-----|-----|------|------|
| 成長投資 | 大規模成長投資補助金 投資下限額：10億円（→補助金額：3.3億円） 50億円 | | | | | | | |
| | 成長加速化補助金 5,000万円 5億円 | | | | | | | |
| | 事業再構築補助金 成長分野進出枠（通常類型） 100万円 6,000万円 成長分野進出枠（GX進出類型） 100万円 8,000万円 コロナ回復加速枠 100万円 1,500万円 | | | | | | | |
| | 新事業進出促進補助金 750万円 7,000万円 | | | | | | | |
| | ものづくり補助金 製品・サービス高付加価値化枠 100万円 2,500万円 グローバル枠 100万円 3,000万円 | | | | | | | |
| 省力化投資 | 省力化投資補助金 カタログ注文型 100万円 1,000万円 一般型（オーダーメイド） 100万円 8,000万円 | | | | | | | |
| IT投資 | IT導入補助金 通常枠 5万円 450万円 インボイス枠 5万円 350万円 セキュリティ対策推進枠 5万円 150万円 | | | | | | | |

※ 上記は、中堅・中小企業の場合で、補助金額の上乗せの適用がない場合の補助金額のイメージを示したものです。
 ※ 補助金によっては、従業員数によって補助上限が変わるものや、大幅な賃上げに取り組むなどの条件を満たす場合に補助上限額が上乗せになるものがあります。

■ 補助対象経費に建物費や機械装置費が含まれる
 ■ 補助対象経費に機械装置費が含まれる
 ■ 補助対象経費に建物費や機械装置費は含まれない

中堅・中小企業向けの主な補助金の位置付け（2/2）

| | 100万円 | 500万円 | 1,000万円 | 5,000万円 | 1億円 | 5億円 | 50億円 | 補助金額 |
|----------|--|-------|---------|---------|-----|-----|------|------|
| 省エネ投資 | 省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金 (I) 工場・事業場型 100万円 15億円 (II) 電化・脱炭素燃焼型 30万円 3億円 (IV) エネルギー需要最適化型 100万円 1億円 | | | | | | | |
| | 省エネルギー投資促進支援事業費補助金 (III) 設備単位型 30万円 1億円 (IV) エネルギー需要最適化型 100万円 1億円 | | | | | | | |
| 販路開拓 | 持続化補助金 通常枠 50万円 創業型 200万円 協働・協業型 5,000万円 | | | | | | | |
| 事業承継・M&A | 事業承継・M&A補助金 事業承継促進枠 100万円 800万円 専門家活用枠 50万円 600万円 PMI推進枠（PMI専門家活用類型） 100万円 150万円 PMI推進枠（事業統合投資類型） 100万円 800万円 廃業・再チャレンジ枠 50万円 150万円 | | | | | | | |
| 物流投資 | 物流効率化実証事業 300万円 5億円 | | | | | | | |
| 研究開発 | Go-Tech事業 通常枠 9,750万円 出資獲得枠 3億円 | | | | | | | |

AUTO-ID トップランナーに聞く

会報JAISAでは、自動認識業界を牽引する企業のマネージャーに、会社での業務や自動認識市場の変化などについてのインタビューをスタートします。初回にご登場いただくのは東芝テック（株）の湯川部長です。

はじめに、就職先に東芝テックを志望された動機について伺いたいのですが。

私は、出身が静岡県の三島で、大学は東京で理系を専攻しました。就職を考えた頃、設計をやるなら工場がある地方に行くだろうと思い、だったら地元がいいかと。地元の工場のなかでいちばん目に付いたのが、東芝テックだったという、単純な動機でした。（笑）配属は（狙い通り）三島で、バーコードプリンタ（BCP）の設計でした。当時、BCPの設計部隊は残業が多く、相当苦勞するぞみたいなことを聞いていたので、憂鬱になりましたね。



配属当初は、不安なことも多かったと思います。不安を乗り越えた要因は何でしょうか。

当社はPOSがメインの会社なので、それをやりたいたって思っていたのですが、仕事はBCPの設計で、なんか違うぞ、と。また、残業というインパクトが強かったので、ちょっとテンションが下がっていましたが、職場にとても気の合う人たちがいてモチベーションがどんどん上がって行きました。特に個人的な付き合いをすると距離が縮まります。お酒を飲みに行ったり、当時スキーが流行っていて一緒に行ったりしました。

当時、湯川さんの部署が多忙だった背景は？

BCPが出て間もない時期で、製造業向けの需要が伸びて海外のニーズも多くありました。出せば売れる、そんな時代でした。製造現場の情報化が進んだ時期ですね。

東芝テック株式会社

湯川 知明 様

仕事のやりがいは、どんなところにありましたか。

設計業務なので、営業や商品企画から製品の開発要望が上がってくるのですが、本当にユーザーが求めているものが自分でよく分かっておらず、悩んだこともありました。当時ポータブルプリンタはまだありませんでしたが、運輸・宅配のお客様が配達時に複数枚の個口のラベルをその場で発行する業務がありまして、私は「ポケプリ」（*注）のメカ担当でしたので、できた時に何日間か現場に同行して、ドライバーさんからいろいろな話を伺いながら実際に使ってみたことが印象に残っています。お蔭で導入していただくことができました。やりがいを見つけるには、自分がどうしたいのかという意志が強ければモチベーションは維持できます。

*ポケプリ
1990年から販売している持ち運びできるBCPのヒット商品。ポケットに入る手のひらサイズで愛称はポケプリ。
https://www.toshibatec.co.jp/products/auto_id/blp2d/

RFIDに関わるのはいつ頃からですか？

2002年に新規ビジネス開拓の部署に異動した時にいろいろな施策・案件がありまして、RFIDはその中のひとつでした。その後、RFID販売支援や東京支社で専門店SEの時にもRFIDには継続して関わっていました。

お客様との距離は近くなりましたか？

随分近くなりました。当社はエンドユーザーへの直販（直接販売）とビジネスパートナーを介して商談するパターンがあり、BCPの営業はパートナーさんと一緒にやるのが多かったのですが、POSはエンドユーザーと直接関わるので、何を望まれているのか直ぐに分かります。東芝テックのSEは、システムエンジニア的な人とセールスエンジニア的な人がいました。特に私はセールスに近い技術の人間で、営業と一緒にお客様に提案をして、また案件によってPM（プロジェクトマネージメント）もやっていました。

RFIDの分野で苦勞なことは？

2006年に経産省のRFIDアパレル（UHF帯）実証実験

に参加して、上海に行ってきました。縫製工場の商品にRFタグを付けて、コンベアに流して読み取る検証や、スピード、向き、電波強弱などいろいろとテストしてきました。その時の様子はニュースでもよく使われていました。

また、お客様との思い出ということでは、紳士服の売り場にまだ接客端末がなく、店員さんが個々に電卓を叩いて販売していた時代に、誰がやっても同じ値段ですぐに会計ができる仕組みを導入したことがあります。そのお客様とは一緒にサイクリングも楽しみました。また、RFIDの導入を検討していただいているお客様に、倉庫業務を体験させてほしいとお願いして、当社のSE・営業・商品部と倉庫研修を行ったことがあります。これらのプロジェクトに参加した若手は勉強になったと思います。実体験は課題解決に役立ちますから。辛いこともありますが、一線を超えると仲良くなれます。仲良くなると、プロジェクトを成功させるためベクトルが合ってきて、いいチームになります。



現在の部署では、どのようなことをやっているのですか？

異動して1年経っておりませんが、大分慣れました。多くの方との出会いが多くて刺激を受けています。お客様のご要望を聞くことは勿論、きちんとマーケティングを行って製品開発して行くようにしています。市場も数年後に変わって行くので、自問自答して周り先行きを考えるようにしています。先を読むことが現在の仕事です。

RFID をやっている時に、お客様と一緒にトンネルゲートのようなものを日曜大工的に作ったことがあります。（当時はゲート式読取システムが普及していません）自分たちで扉を作って、一機に電波を出したら読めるんじゃないか、とかあれこれ考えながら実験しました。その時はRFIDが広がっていく時期で、知識や経験が乏しい中でやっていましたが、今は大分浸透しているので、アイデアや便利さであの時代を超える新たな感動を届けられる製品を創らなくてはという難しさはあります。

ところで、若手社員と仕事をする機会は多かったですか？

SE時代には若手の社員たちと登山やサイクリングなどレクリエーションを行いました。体力つけないとだめだぞ、とよく言っていましたね。従来のSEのイメージ通りというか、あまり運動しないふっくらした子が、（登山に）参加したことを機にチョコザップにはまって随分痩せました。若手に刺激を与えることが好きなんですよ。

若手と楽しく仕事をするコツはありますか？

人と付き合っているという感覚で、仕事だから・後輩・部下だからということだけでなく、友達感覚を持って接するようにしています。

若手社員に望むこと、メッセージをお願いします。

自分が何をやりたいかを早く見つけた方がいいと思います。やらされている仕事って面白くないじゃないですか。我々や周りも応援して行かなくちゃいけないし、そういう環境づくりも必要です。これから何十年も働いて行くでしょうし、何がやりがいになるかを早く見つけてもらいたい。失敗した時は辛いけど、後から考えると、こんなこともあったなと一つひとつが経験になって成長していることが分かりますから。



本日はありがとうございました。

プロフィール

ゆかわ ちあき

湯川 知明

リテールソリューション事業本部
SCMソリューション商品部 部長

入社：1992年入社

おもな職歴：BCPメカ設計、バーコード商品企画、新規ビジネス開拓、RFID販売支援、東京支社専門店SEを経て2024年4月から現職。

趣味：ハイキング、ゴルフ、チョコザップ

モットー：人生楽しく、仕事も楽しく



自動認識業界の若手 自動認識技術者たち



2025年1月、JAISAが認定する自動認識基本技術者及びRFID専門技術者が集まり、現在の自動認識市場とその将来、また技術者資格を取得したメリットなどについて意見を交換しました。資格者の皆さんは、会社や部署が異なるものの同世代で、当日は昼食を共にして打ち解けた雰囲気でお話を聞かせてくれました。

自動認識資格試験を受験した動機

はじめに、自動認識技術者資格試験を知った経緯や受験の動機をお聞かせください。

越智さん

上司の勧めで受験しました。私は現在マーケティング部に所属していますが、これから拡販をしていく新しいソリューションを中心に、営業さんと一緒に、時には自分がフロントに立って進めるようなことを行なっています。営業さんからQRだったり、他の質問を受けたり、また手伝ってほしいような事柄を受ける立場・部署であるため受験しました。

— デンソーウェーブのマーケの方々は自動認識技術について、かなり知識がないといけないんですね。

越智さん

そうですね。自分はまだまだなんですけど、先輩にはRFIDのスペシャリストやQRだったらこの人みたいな方が居て、様々な営業の方から相談を受けるような位置付けが社内的にあります。

井上さん

私も上司から紹介があり受験しました。私が所属していた部署ではRFIDのみを取り扱っていますが、商談の中でRFIDと他の自動認識技術を組み合わせる提案の方が良い場合もあり、自動認識全般を勉強したいと考え受験しました。

丹治さん

前職の上司から「RFIDをやるんだったら専門の資格を取ってもいいんじゃない？」と言われ、一つの目標として取ろうと思っていました。RFID専門資格は基本技術者資格を取らないといけないので、それを取って満足していたのですが、近くに専門資格を取った方がいて、私もそろそろ取らなきゃと思い昨年受験して合格できました。

白澤さん

私は前職の頃、サトーが取引先でした。その方の名刺に自動認識基本技術資格者と載っていたため試験があることを知りました。サトーに転職してから（基本技術者試験に合格して）、RFID推進部になって営業さんと技術（部門）の間に立って業務を行ったり、営業さんに同行する際にRFID専門技術者と名刺に載っていればよりよいと思ってこちらでも受験しました。

平山さん

私が資格試験を知ったのは、デスクの近くに資格試験のポスターが貼ってあったからですが、社長から「是非受けてこい！」と言われ、入社3か月目でしたが、受験したら合格できました。

東口さん

私は前職で丹治さんと同じ会社においでして、資格試験はやはり上司から聞いて基本技術者資格試験を受けました。その後東芝テックに転職したタイミングでRFID専門技術試験を受けました。社内では基本技術者資格取得者が、RFID専門技術者試験の対象者になっていたため、上司からも受けてみるよう言われました。

齋藤さん

私は上司の勧めというより、気づいたら申し込まれていて受験する流れになりました。— 会場 笑い
入社が21年4月で10月に配属が決まり、11月に（基本技術者）試験を受けました。上司から「この日空けといてね」みたいに言われて。— また 笑い
配属前から自動認識には興味があり、研修として先輩たちとお客さんを回らせていただいている中で、少しずつ知識を身につけていたため合格できたと思います。

吉田さん

私の部署で推奨している資格ということと、直属の上司の勧めもあり受験しました。社内にポスターも貼ってありましたので。実際に受けたのは（入社）4年目です。業務に必要な自動認識技術に関する知識を広く学べる点が、自分のキャリアアップにつながると思い、受験しました。

技術者の資格は役に立つの？

自動認識技術者の資格が役に立っている、と感じたことはありますか？（一全員が挙手）
本当に？ それとも付度？ — 会場 笑い

東口さん

皆さんとは部署が違うので、どういうところが役に立っているのか、聞いてみたいです。



— そうですね。ここにいる皆さんは、営業・マーケティング・企画部門・製造など業務内容が違っている方々です。それでは、技術者資格がどのように役に立っているか、お話しください。

丹治さん

RFIDというとUHF帯が多く使われているため、UHFというイメージが強いと思うんですけど、前職ではHFの知識が殆どなかったため、それを知るきっかけになった点がよかったと思います。また、RFID関連の用語・専門用語を知ることによって、仕様書などに専門用語が載っていてもその意味がわかるようになりました。

白澤さん

RFID専門技術者が試験で勉強することは、運用より技術面が多かったと思います。自社で開発部門が作った資料をよくよく見たら、このことが書いてあったのかとわかったり、営業さんがそのままお客様に喋るのは難しいと思うような時に、（私から）技術的な説明が根拠を持ってできているのかなと思います。今でも時々教科書を引っ張り出して読んでいます。

平山さん

私は営業で、客先で場繋ぎが必要な時があり、資格のために勉強した内容をポロッとと言うと、そこからお客様との話が広がることがあります。（お客様に）自信を持って提案しやすくなるということはあるかなと思います。

越智さん

私は営業さんに頼られる部署に居ることもあり、入社したばかりで右も左もわからない時に、バーコードやQRコードの用語の理解を自分のものにできて業務に活かせるところが大きいところ。また、今自分はQRを使った顔認証とか、バイオメトリクス分野に関わっているのでも、どういった認証方法があるのか、様々な用語を知ることができ、お客様と話す時にも、先ほど白澤さんが仰っていたように説得力がでると感じます。

吉田さん

私はRFIDタグを開発しています。業務の中で、分からない用語や課題に直面しても、試験勉強の際に目にしていた内容であればスムーズに解決できていると感じます。勉強に用いたJAISAの教科書は一般の学術書や教習本と比較して、実務に近い内容が書かれているので役立ちます。

井上さん

私の場合、例えば自社製品と他社製品でRFIDタグを読み比べて製品評価をする場合に、タグを大量に置いた時や少ない時にどれだけ読めるか、読める設定と読めない設定の違いとか、何でそうなるんだろうと設定値に悩むこともあり。RFID専門技術者資格の勉強の中で、技術や専門用語の解説があり（アンチコリジョンとはこういう技術ですなど）、RFIDの基礎を深く知ることができて、最適な環境（設定値）で評価を進めることができ、専門技術者資格を取得してよかったと感じています。



井上 和泰

NECプラットフォームズ(株)
社会インフラ事業部門 RANシステム
開発グループ

入社 : 4年目

自動認識 : 自動認識基本技術者 RFID
資格 専門技術者

職種 : 昨年までRFIDのSE、現在は別プロジェクトを担当

趣味 : 高校から吹奏楽を継続。演奏会も行っている。



越智 勇人

(株)デンソーウェーブ
マーケティンググループ
プロジェクト推進1室

入社 : 3年目

自動認識 : 自動認識基本技術者
資格

職種 : 営業支援、QRコードのソリューションを企画

趣味 : キャンプ、サウナ



齋藤 萌夏

東芝テック(株)
リテール・ソリューション事業本部
オートID営業

入社 : 4年目

自動認識 : 自動認識基本技術者
資格

職種 : 営業。医療分野を担当。
趣味 : 野球観戦。(高校野球も応援している)

*JAISA 医療自動認識プロジェクトに参加



白澤 亜矢子

(株)サトー
国内営業本部 RFID推進グループ

入社 : 9年目

自動認識 : 自動認識基本技術者 RFID
資格 専門技術者

職種 : 営業支援、商談・設置同行、RFID教育指導

趣味 : 旅行、二胡(弦楽器)、韓国語



丹治 寛貴

(株)サトー
国内営業本部 RFID推進グループ

入社 : 4年目

自動認識 : 自動認識基本技術者
資格 RFID専門技術者

職種 : 営業支援、商談・設置同行、RFID教育指導

近況 : 2年前に子供が生まれ子育てが楽しい。私生活が充実。



東口 真基

東芝テック(株)
リテール・ソリューション事業本部
オートID営業

入社 : 4年目

自動認識 : 自動認識基本技術者
資格 RFID専門技術者

職種 : 営業。物流・倉庫・製造分野を担当

趣味 : ゴルフ



平山 亮

オカバマーケティングシステム(株)
東京営業部 営業三課

入社 : 1年目

自動認識 : 自動認識基本技術者
資格

職種 : 営業。物流・商社・アパレル分野を担当

趣味 : 学生時からバンドを継続し、ライブ活動も行っている。お酒を飲むこと。



吉田 享平

TOPPANエッジ(株)
ITインノベーション本部 IoT開発部

入社 : 4年目

自動認識 : 自動認識基本技術者
資格

職種 : IoTデバイスの開発

趣味 : 神社仏閣巡り

齋藤さん

私は越智さんと似ているのですが、(合格したのが)入社してすぐだったので、試験を受けなければ何もベースがない状態で客先に行って説明をしなければならない状況でした。当時の上司は、ある程度知識がある状態で現場に出た方がいいのではないかという判断で試験を受けさせてくれたのだと思います。現場に出た時にある程度喋れる状態だったので、試験が活きていたのだと思います。また、名刺に書いてあるので、お客様との小ネタになるということもあります。— 会場 笑い

東口さん

齋藤さんと同じで、上司からネタに使われるということがあります。— 会場 笑い
初めて行ったお客様の所で、「コイツはこんな資格を持っているんですよ」とか。私は営業ですが、名刺に書いてあるので商談に行くと「すごいね」とか言ってもらえることもあり、先ほど説得力というワードがあったように、持っていることで違うのかなと思います。

自動認識のこれから

自動認識の将来性について、どうお考えですか。

東口さん

AIとOCR技術の台頭で、バーコードがなくても箱(商品や段ボールなど)に表示された情報を読み取ることができるので、ラベル自体が減少するということは前から考えています。ただ、現在は早く認識するためにバーコードなどのシンボルはまだ必要だと思えます。5年・10年後ではラベル形式でなく文字をデータ化するか、RFIDについても貼り付けるのではなく埋め込んだり、直接印刷したりすることができるようになると思います。自動認識の市場について、不安というよりはそのかたちが変わっていくと思います。

平山さん

昨年の自動認識総合展では当社が出展したOCRのソリューションに多くの問い合わせをいただきました。近年、画像認識関連の問い合わせが増えてきているため、社内でもOCRに興味を持つ人は増えているし世の中的に需要も高まると思います。

ラベルの需要が減っているといったお話がありました。環境配慮や人手不足など、様々な背景があると思いますが、このようなことをお客様との商談のなかで感じたことはありますか。

齋藤さん

ラベルを使いたくないというより、「誰が貼るか」という課題が人手不足の中で存在すると感じています。今までラベルを貼っていなかった現場やRFIDの導入などで複数のラベルを貼らなければならなくなった場合は、ラベルを貼る人や読み取る人の人員的要素が大きいです。先程の東口さんの発言にあった画像認識などの発展は業務改善の提案につながると思っています。ですから、今後の自動認識市場が暗くなるとは思っていませんが、形は変わっていくと思います。



白澤さん

ラベルを貼る作業を削減したいというユーザーには、ラベルの自動発行・貼り付け機の提案も行いますし、ラベル自体を減らしたいという要望のお客様には運用面の提案をします。コロナ禍以降、特にRFIDを活用したいという業界、業種が多岐にわたってきております。

RFIDを使いたいお客様が増えているんですね。RFIDはどんな現場に適しているのでしょうか。

丹治さん

物流・倉庫などは強いと思いますが、金属や液体は読みづらいです。これらに対応したタグもありますがコストが上がるため、種類もまだ多くないのが現状です。

東口さん

画像認識の技術は年々高くなってきておりますが、どうしても表面に見えている所しか認識しないという部分もあります。倉庫の荷物でいうと、表面が見えない奥の荷物まで全部読むにはRFIDが優れているということになります。

越智さん

私が昨年に携わった案件で、RFIDを使ったおもてなし用途がありました。イベントの来場者にRFタグのついた胸章を配り、来場者人数のカウントに使い、またイベント会場内の回遊スポットにアンテナ付の大きなパネルを置いて、そこに立った人の顔が映る、といった使い方をしました。来場者には自動認識というかRFIDのことを知らない人が多く、「これってどうなってんの」「顔認証?」など、サプライズ演出で盛り上がりました。我々はモノの管理という使いばかり頭にあったので、このような使い方は新鮮に感じました。スポットに立った人を読んで表示することは難しかったです。アンテナと電波出力の調整や角度など、また周りの金属や環境などの影響がある中でなんとかやりることができました。そうしたおもてなし的な要素もRFIDが伸びる分野ではないかと思えます。

RFIDのほかに、新しい用途や運用はありますか。

井上さん

最近では、顔認証とQRコードを組み合わせた認証製品があります。(PCに貼ったシールを見せて)これが私の顔の要素を入れたQRコードになっていて、入室する際に(例:試験、イベント会場、有資格者専用エリアなど)専用のカメラの前に立つと、このシールがプリントされます。出口では、QRコードのデータと顔認証のデータが照合され合致すると外に出られる仕組みです。(活用用途は)セキュリティ、なりすまし防止などで使えると思っています。顔認証技術はプライバシーの問題で普及が難しい面があると思いますが、これは顔のデータベースを持たず認証が可能であり、QRコードだけでは認証ができないという点で、個人情報漏洩のリスクを抑えています。

越智さん

弊社も顔認証QRコード案件があり、二層構造のQRコードで鍵を掛けた下の部分に顔の情報を入れるというものです。

今後チャレンジしたいこと

最後に、今後自分がチャレンジしたい分野や、将来の抱負などをお聞かせください。

平山さん

私は昨年入社なので、夏頃から予算を持って結構忙しく動いていますけど、まずは業績を伸ばし、新規獲得に動きたい。商材では、電子棚札にも力を入れていけたらと思います。RFID、バーコード、ESL(Electric Shelf Label)の3本柱でやっていきたい。お客様によって提案の切り口を変えながら提案できる営業になれたらと思います。

東口さん

私は、今後アプリというかシステム側の力を伸ばしたいと思います。RFIDを提案するにあたってタグ・ハード・ソフトの面が揃わないとしっかりした提案ができなくてと思っています。システム関係の力を付けたい。資格や試験があったら情報をください。勉強したいです。

齋藤さん

私は医療の分野をもっともっと伸ばしていきたいです。病院ではタスクシフトが注目されています。自動認識を活用して、看護師さんは自身の仕事、お医者さんは診療に集中できるようにすることが必要だと思っています。人手不足が深刻な医療の現場に導入・活用しやすいソリューションの提案を心がけています。また、医療を取り囲む分野で、SPDや電子カルテ、などを攻めるといふ方針もあります。現在、病院に対してはアナログ的にまわっている状態で苦戦することも多いですが、そこは逃げずにやらなければいけないと思っています。

吉田さん

国内だけでなく海外も視野に入れた製品開発を行ってきたいです。具体的には、海外で必要な性能もカバーし、国内外での兼用を可能とする製品開発です。海外展開は、知財面や認証の面で検討すべきことは多いと思いますが、市場規模を踏まえると無視できない領域です。自身の成長、会社への貢献という点で、国内外に対応した製品開発に注力したいと考えます。

越智さん

QRコードの話になるのですが、展示会などでお見受けしますけど、ひとつのQRが決済に使えると入退出もできるとか、様々な所で活用できる、体験できるという使い方に興味があり、自分自身のテーマとして持っています。AR的なものと組み合わせても面白いと思います。QRの中にユニークなものを盛り込む必要がありますが、ひとつのQRがバス、鉄道、店舗との連携など、活用用途はまだまだ拡がり、新しいユーザー体験を提供できればよいと思っています。

井上さん

私のチャレンジは2点あります。1点目は、今後自動認識をどのように活用していくかという点です。現在、私はRFIDとは全く別のプロジェクトを担当していますが、RFIDの業務から離れたことで、別の視点でRFIDなどの自動認識技術を捉えられると考えています。現在のプロジェクトに自動認識を活かすとどうなるのか、と考えて今後も活動していきたいと思っています。2点目は、今後RFIDがさらに普及した時に、RFID読取機の需要が増えると思うので、販促の機会が増えたときに対応ができるよう、日々自身の技術を磨いていきたいと思っています。

白澤さん

先日、大学生から問い合わせがあって、「杖にRFIDを入れて地面に埋めたタグで場所を検知できるか技術的アドバイスをください」という内容でした。産学協同は面白いと思います。RFIDの用途が拡がり、(様々な用途に対して)QRコードだったり、センサー系、ビーコンなど優位点を活かして、私の知識はまだ浅いけど、技術を組み合わせることで改善できるようになりたいと思っています。私の会社に<三行提報>という毎日社員が会社を良くする提案を150文字程度で報告する業務があり、この三行提報のキーワードランキングでRFIDは常に上位に入っています。内容を見るとRFIDについてそれほど知られていないと感じることもあるので、社内にも正しい情報を提供して、その中で新しい活用のヒントを貰うというコミュニケーションを行っていききたいと思います。

丹治さん

私は引き続きHFもUHFもやっていますが、自動認識は健常者が普通に使える技術、ということが常識のようにになっている気がしています。視覚障がいの人と話す機会があって、「実はバーコード・QR決済が私には使えない」と言われ、NFCであればタッチするだけで出来るから便利であるとか、眼からウロコが落ちる気がしました。身体的な障がいを持たれる方は、情報収集がそのせいで遅れてしまうことがありますけど、ほかの身体機能は元気でアクティブに活動されている方も多いようです。世の中は便利になっているけど、実は活用できていない自動認識があったり、活用できていない人たちがいるので、そういう方々のためにも自動認識が使えるような視点を常に持ってやっていきたいと思っています。会社としても障がいのある方とのコミュニケーションを積極的に行っているのだから、意見をいただきながら自分の持っている技術で役に立つことを考えていきたいと思っています。



本日はお集まりいただき、ありがとうございました。
今後のご活躍を期待しております。

生体認証を円滑に導入するポイントを学ぶ

バイOMETRICS部会は2025年3月2日(月)14時から大阪で、デジタル倫理ワークショップを一般企業の参加者を集めて開催しました。このワークショップは、東京・名古屋に続く今期3回目となりました。

近年、生体認証やAIは性能が向上し、業務改革に欠かせない技術として取り入れられるようになる一方、基本的な人権・プライバシーの侵害や個人情報の目的外利用が指摘され、導入がスムーズに進まないケースも見られます。

ワークショップの目的は、生体認証の導入が進まない事例をケーススタディし、地域の安全・安心や人手不足解消、高付加価値の実現に向け、円滑に導入するためのポイントを学ぶためのもので、経済産業省からの受託事業(これからの利活用のかたちと標準化)の活動としてJAISAバイOMETRICS部会が実施しました。

グループワークで課題を抽出、解決策を討議

当日は、応募による一般参加者と本受託事業に参加する講師が、会場とオンラインで小グループになり意見交換を行う形式で進めました。

当日のプログラムは、ケーススタディ1(普及のための課題)として生体認証やAIの導入が進まない要因を、街中にある鉄道・飛行機など交通インフラや、病院・銀行などの施設、店舗、住宅などに設置されている防犯カメラや決済端末などから、生体認証が利用されることのメリット・デメリットについて討議しました。ケーススタディ2(異業種連携)では、地域の安全・安心や人手不足解消、付加価値向上をはかるための連携ポイントをテーマとして、上記施設で生体認証の利用目的と施設間のデータ連携について討議しました。

グループワークでは、街中の施設に設置されている生体認証システムについて「無理やり操作させていないか」「不平等、差別が生まれていないか」「本当に生体認証が必要か」「利用者に周知すべき事項は」などの検討項目をもとに、利便性やセキュリティ、個人情報保護ほ



例題に対する意見を色で表現(東京会場)

か、個人の目線で意見をメモに書いてワークシートに貼り付け、体系的に意見を集約した後、グループ発表を行いました。

また、マイナ保険証の普及についても議論され、スムーズに導入が進んでいない要因について多くの意見が出されていました。

生体認証の導入ポイント

グループワーク終了後は、ワークショップのまとめとして、バイOMETRICS部会及び外部講師より注目すべきポイントの講義がありました。

国内ガイドライン:

- 顔認証機能及び情報の一元管理を提供するプラットフォーム
- カメラ画像活用ガイドブック
犯罪予防や安全確保のための顔識別機能付きカメラシステムの利用

日本国憲法と個人情報保護法:

- 個人の尊重と公共の福祉
- 個人情報保護法(民間ルール)

デジタル時代に求められる

Digital Ethics Compass:

- システムデザインチェックリスト
 - ・ 倫理に反さず、人権に配慮できているだろうか?
 - ・ 意図せず、ユーザーに不利益を被らせていないだろうか?

【当日ワークショップに参加いただいた講師】

- 恩田 さくら氏 (一財)日本情報経済推進協会
電子情報活用研究部 主幹
- 木村 一輝氏 丸の内総合法律事務所 弁護士
- 松本 真和氏 日本電気(株) フェロー室室長



グループ発表(東京会場)